

医療通訳アプリ開発

前橋のC&T

6種類別 7言語で問診

医療通訳支援サービスを手掛けるC&T(前橋市右倉町、滝沢清美社長)は、外国人が医療機関を受診する際にスマートフォンなどで意思の疎通を図れるアプリ「メデイカルランゲージ」を開発し、販売を始めた。訪日外国人が増える中、簡便に使える通訳手段として普及を図り、医療現場における「言葉の壁」の解消に取り組む。

対応するほか、在外邦人や手話を通じた聴覚障害者とのやりとりも行う考え。

滝沢社長は「現状のままでは医療通訳者は足りない。言葉の壁をなくすソリューションを提供していきたい」と話している。

アプリは、症状を伝える患者用、医師用、看護師用、検査技師用、薬剤師用、事務員用の6種類用意した。日本語と英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の7言語に対応する。

章は音声で読み上げられる。外国人の診察に同行する医療通訳ボランティアは県内に135人いるが、時間や物理的な制約がある。アプリはインターネットに接続していても利用できる。24時間、人命に関わる緊急の現場でもスムーズな情報伝達が可能になる。同社はまた、専用システムを使用した遠隔医療通訳コールセンターの稼働に向け、今秋から各地の病院と連携し実証実験を始める。東京五輪が開催される2020年には4千万人が海外から訪れる

診する外国人の増加が見込まれる。コールセンターはそうした人にと

最大級の培養タンク

協和発酵 キリン 医薬製造棟完成祝い

発熱、頭痛、打撲といった症状がいつから現れたか、どれくらいの痛みかなどを「はい」「いいえ」「分からない」などと答えてもらうことで患者の容体を見えていく。開発にあたり、群馬大医学部附属病院の医師や看護師らに意見を聞き、6種類で問診に必要な約5千の会話を収録した。文

がんなどの抗体医薬品を製造する協和発酵キリン(東京都千代田区、花井陳雄社長)は2日、高崎市萩原町の高崎工場で新たなバイオ医薬製造棟の竣工式を開き、関係者70人が完成を祝った。1万2千以上の国内最大級の培養タンクを設け、生産能力を2割増やし、国内外への供給態勢を強化する。年内に稼働し、商業

生産は2019年に始める。ここで作られた新薬を世界中の病気に苦しむ人に届けたい」とあいさつした。

グローバル化を進めている。ここで作られた新薬を世界中の病気に苦しむ人に届けたい」とあいさつした。

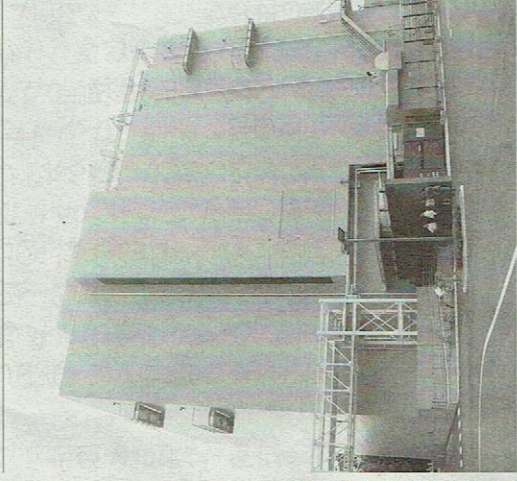
商工中金が 自社ビル建設 来年度下期 までに移転

商工中金前橋支店(前橋市大手町)は2日までに、同市本町の市有地約880平方

を借り受けて自社ビルを建設し、2017年度下期をめぐりに支店を移転すると発表した。建設予定地は、現店舗から東へ約100メートルの国道17号と県庁前通りが交わる本町一丁目交差点の一角。同支店によると、現店舗のビルに約40年入

高崎工場に新設されたバイオ医薬の製造棟

同社は国内3カ所に製造拠点があり、同工場でバイオ医薬品を製造している。培養タンクは今回が六つ目。



アプリは、iPad版、iPhone版がある。事務員用のみ無料で、全ての言語、職種に対応する「メデイ

カルランゲージPro」は2万8800円。問い合わせは同社(027-251-5515)へ。

10期連続の「持ち直し」 前橋財務判断据え置き

財務省前橋財務事務所は2日、4~7月下旬の県内経済情勢報告を発表し、「一部に弱

山本龍市長は「前橋を象徴する交差点に支店を置いていただくとはありがたい。県内中小企業への支援を今後も続けてほしい」と話している。

税理士の小林一仁氏(62)は高崎市片岡町。昨月、全国の税理士仲間と創業税理士法人(本店・大和市)を立ち上げた。同月、理事を務める。税理士法人は同じ市内の複数の税理士でつくる個人事務所が共同で設立す

風人雷人



るのは極めてまな取り組みとして目されている。メンバーは他(メンバー)は他市)を立ち上げた。同月、理事を務める。税理士。同じ勉強会に参加し、信頼関係の複数税理士でつくる「連携する」ことが多く、離れた地域のそれが専門知識個人事務所が共同で設立すサービスを提供

100年続く企業目指

は「従業員数が不足しているものの、大企業が幅広く募集をかけているため、中堅・中小企業には回ってこない」とい(自動車部品メーカー)との声があったという。その他の項目の判断は据え置いた。

大企業の特許 中小で活用を

前橋市は、同市元総社町の県市町村会館で、自社の技術を生かして新たな商品開発を